

令和3(2021)年度 事業報告書

(令和3(2021)年4月1日から令和4(2022)年3月31日まで)

1 概要

本財団は1945年4月4日に財団法人海洋化学研究所（文部省所管）として設立され、2012年4月1日に一般財団法人海洋化学研究所（京都府所管）へ移行し、2016年9月1日からは、公益認定を得て一般財団法人から京都府所管の公益財団法人となり、2017年12月21日からは、変更認定を得て内閣府所管の公益財団法人となった。

本財団は、事業目的である「海洋化学に関する研究、助成及び奨励をなし、その発展を図ることを目的」として（公1）～（公3）の事業を行う。

賛助会員の数は、個人会員が104名、学生会員が11名、法人・団体会員が5法人である（令和3年11月1日現在）。

法人の主たる事務所は、京都府宇治市の京都大学化学研究所内に置く。その他の事務所はない。

法人の役員は、評議員4名、理事5名、監事2名である。

法人の職員は、常勤職員が1名である。

2 （公1）学術助成金の事業

海洋化学に関する研究、助成および奨励をなしその発展を図るため、その分野における研究者に学術助成金を支給する事業を行った。

助成金の種類は、以下の2種類である。

ア 海洋化学に関する研究者（大学院生以上の学生も含む。）向けの、研究助成金。以下、「研究助成金」と言います。

金額 1件150万円以下 年数件

イ 海洋化学に関する研究者（大学院生以上の学生も含む。）向けの、海外の大学、研究機関、学会、シンポジウム等への海外渡航費に関する助成金。以下、「海外渡航費に関する助成金」と言います。

金額 1件30万円以下 年数件

これに基づき、助成金への応募を、2021年11月13日から2022年2月4日まで、財団のホームページ、及び、本財団発行の研究所報「海洋化学研究」を用いて、呼びかけた。

本助成金の受領者などを決める選考委員会のメンバーは、以下の6名である。

加藤義久(東海大学名誉教授)

左右田健次(京都大学名誉教授 兼 本財団評議員)

中西正己(京都大学名誉教授 兼 本財団評議員)

廣瀬勝己(元気象庁気象研究所地球化学研究部部長)

蒲生俊敬(東京大学名誉教授)

宗林由樹(京都大学教授 兼 本財団代表理事)

2022年2月19日、選考委員会が開催され令和4年度助成金の受領者の選考答申が行われ、この答申結果は、2022年3月26日に理事会にて承認された。助成金の受領者は、以下のとおりである。

ア 研究助成金 (6名、合計 6,017千円)

代表者氏名	代表者所属・職名	研究題目	助成金額 (千円)
高野祥太郎	京都大学化学研究所・助教	河川水中 Ag 同位体比分析法の確立	967
小畑 元	東京大学大気海洋研究所・教授	海洋における溶存態および粒子態微量元素元素の分布および粒子除去プロセスの解明	1,500
高巢裕之	長崎大学総合生産科学域(環境科学領域)・助教	有明海奥部海域における尿素の分布とシアノバクテリアによる尿素利用能の評価	1,000
漢那直也	東京大学大気海洋研究所・助教	海洋におけるマンガンサイクルの解明に向けた3価マンガン測定法の確立	750
Wong Kuo Hong	金沢大学理工研究域物質化学系・助教	チオール類を新規バイオマーカーに用いた海洋における銅毒性の評価技術の開発	750
鄭 臨潔	京都大学化学研究所・助教	UV 照射が海水中微量元素分析に与える影響の検討	1,050
		小計	6,017

イ 海外渡航費に関する助成金（1名、合計200千円）

代表者氏名	代表者所属・職名	渡航目的・渡航先	助成金額（千円）
松岡航平	京都大学理学研究科化学専攻・修士2年	ホノルル（アメリカ、ハワイ）で行われる Geochemistry の国際会議である Goldschmidt2022 への参加 発表タイトル: Analysis of distribution and sources of Mo and W in the hydrosphere based on concentrations and isotope ratios 渡航先: ホノルル（アメリカ、ハワイ）	200
小計			210

3 （公2）学術講演会の事業

海洋化学に関する研究、助成及び奨励をなしその発展を図るために、その分野における第一人者を招き、京都府内において、広く一般人にも開かれた講演会を開催する事業である。

以下の講演会を実施した。

第41回石橋雅義先生記念講演会

2021年4月24日（土）午後1時30分～午後5時、京都大学楽友会館にて開催を予定したが、コロナウィルス感染症対策のため休会。

75周年記念秋季講演会

2020年11月13日（土）午後1時15分～午後17時00分、京都ホテルオークラにて開催。

- 「財団法人海洋化学研究所75年の歩み」代表理事 宗林由樹

以下の者に、学術賞及び奨励賞を与えた。

- 第36回海洋化学学術賞を東京大学大気海洋研究所教授 小畑 元氏に授与
- 第5回海洋化学奨励賞（40歳未満）を海洋研究開発機構副主任研究員 柏原輝彦氏に授与
- 第5回海洋化学奨励賞（30歳未満）を海洋研究開発機構 Young Research Fellow 栗栖美菜子氏および東京大学大気海洋研究所特任研究員 Wong, Kuo Hong 氏に授与

続いて、受賞者が講演を行った。演題、講演者は以下のとおり。

- 第5回海洋化学奨励賞受賞記念講演
 - U30 (30歳未満)
 - ◇ 「鉄安定同位体比を用いた、エアロゾル中の起源の異なる鉄の海洋表層への寄与推定に関する研究」海洋研究開発機構 Young Research Fellow 栗栖美菜子
 - ◇ 「海水中の銅の有機配位子の分布およびその循環に関する研究」東京大学大気海洋研究所特任研究員 Wong, Kuo Hong
 - U40 (40歳未満)
 - ◇ 「海底堆積物・鉱物への元素濃集メカニズムの解明」海洋研究開発機構副主任研究員 柏原輝彦
- 第36回海洋化学学術賞受賞記念講演
 - 「クリーン技術に基づく海洋における微量金属元素研究」東京大学大気海洋研究所教授 小畑 元

出席者 51 名

京都化学者クラブ講演会

楽友会館にて開催。化学という分野に着目した、市民向けの学術講演会。「化学者クラブ」という名称であっても、別に「化学者クラブ」との団体があるわけではない。

年	月日	題目	講演者	所属
2021	4月3日	海苔あれこれ	中西 正己	京都大学名誉教授
2021	5月8日	海洋・雪氷圏特別報告書 (SROCC) を読んで	村井 重夫	元・地球環境産業技術研究機構 (RITE) CO ₂ 貯留研究グループリーダー
2021	6月5日	分離分析で化学物質を評価する：皮膚感作性物質を事例として前処理, 検出, 定量	岡本 昌彦	京都大学学術研究支援室リサーチ・アドミニストレーター
2021	7月3日	微量成分から見た京都盆地と近江盆地の地下水	向井 浩	京都教育大学理学科教授
2021	8月7日	大水深淡水湖のユニークな微生物生態系	岡崎 友輔	京都大学化学研究所附属バイオインフォマティクスセンター助教
2021	9月4日	NMR で迫るヒト生細胞内の核酸分	片平 正人	京都大学エネルギー

		子の挙動と木質バイオマスの超微細構造		一理工学研究所教授
2021	10月2日	江戸時代日本人の食糧事情	重松 利彦	甲南大学名誉教授
2021	12月4日	海水中の微量栄養物質が一次生産へ与える影響	近藤 能子	長崎大学総合生産科学域(水産)大学院水産・環境科学総合研究科准教授
2022	2月5日	旧巨椋池氾濫原における水草の自然再生について	松本 仁	松本仁技術士事務所代表
2022	3月5日	ファクト情報を選別するために－ 学者になれなかった内省言－	三田村緒佐 武	滋賀県立大学名誉教授

4 (公3) 学術情報提供の事業

海洋化学に関する学術情報の流通を促すことで、海洋化学に関する研究、助成及び奨励をなし、その発達を図るべく、学術研究誌出版事業としての「海洋化学研究」の発行、及び、本財団のホームページ運営を行った。

海洋化学研究(第34巻1号)を2021年4月24日に発行。内容は、以下のとおりである。

ページ	種類	タイトル	著者
1	巻頭言	地理好きな私と海洋観測研究	加藤 義久
4	第4回海洋化学奨励賞受賞記念論文	海洋大気エアロゾルの沈着・生成とその気候影響に関する研究	岩本 洋子
11	第4回海洋化学奨励賞受賞記念論文	積物中モリブデンおよびタングステン安定同位体比分析法の開発と日本海古海洋環境の復元	辻阪誠
20	月齢卓話	海の流れと地球の自転：計測に対する雑感	吉川裕
30	月例卓話	3DプリンタによるXRF分光器の製作	田中 亮平
35	月例卓話	遠隔山岳地域の湿性沈着中の微量元素	山本 祐平
39	学術助成報告	令和2年度伊藤光昌氏記念学術助成金(研究助成)成果報告書	高野 祥太朗
42	学術助成報告	令和2年度伊藤光昌氏記念学術助成金(研究助成)成果報告書	南秀樹

44	学術助成報告	令和 2 年度伊藤光昌氏記念学術助成金（研究助成）成果報告書	鄭臨潔
46	学術助成報告	令和 2 年度伊藤光昌氏記念学術助成金（研究助成）成果報告書	久保篤史
50	学術助成報告	令和 2 年度伊藤光昌氏記念学術助成金（研究助成）成果報告書	近藤能子
52	学術助成報告	令和 2 年度伊藤光昌氏記念学術助成金（研究助成）成果報告書	漢那直也
57	学術助成報告	令和 2 年度伊藤光昌氏記念学術助成金（研究助成）成果報告書	佐久川弘
60	学術助成報告	令和 2 年度伊藤光昌氏記念学術助成金（研究助成）成果報告書	張勁
63	学術助成報告	令和 2 年度伊藤光昌氏記念学術助成金（研究助成）成果報告書	丸尾雅啓

海洋化学研究（34 巻 2 号）を 2021 年 11 月 13 日に発行。内容は、以下のとおりである。

71	巻頭言	つるつる読み読書を楽しむー『岡田武松伝』を読んで	蒲生俊敬
74	第 4 回海洋化学奨励賞受賞記念論文	海洋化学環境と植物プランクトンの動態応答に関する研究	杉江恒二
83	月齢卓話	電波で挑む雷放電と雷雲の科学	森本健志
89	月例卓話	海苔あれこれ	中西正巳
95	月例卓話	海洋・雪氷圏特別報告書（SROCC）を読んで	村井重夫
103	月例卓話	皮膚感作性を分離分析で評価する。	岡本昌彦
111	月例卓話	微量成分から見た京都盆地と近江盆地の地下水	向井浩

本財団のホームページ運営事業においては、「海洋化学研究」の掲載論文をホームページからも見られるようにし、また、財団からのお知らせ（助成金・講演会・出版等）も掲載した。URL は、<http://www.oceanochemistry.org/>

以上

令和 3(2021)年度
事業報告書の附属明細書

(令和3(2021)年4月1日から令和4(2022)年3月31日まで)

本年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。

以上